

とういん

議会だより

134号



子育てと福祉の充実を 2

議会の動き 7

町政を問う 8

特集 突撃インタビュー 18

平成30年1月19日

12月定例会

発行 三重県東員町議会

支援の充実を

一般会計 補正予算

学童保育や児童手当、就学援助など子育てや福祉に必要な費用と、追加上程された人事院勧告に伴う人件費の増額により、既定予算に歳入歳出それぞれ 8214万 9千円を増額補正し、予算総額は 77億 5757万 6千円となりました。

補正予算の主な事業

児童手当費 747万円

転入や出産が当初の見込みより多くなったため、増額します。

放課後児童対策事業 680万2000円

補助基準額の変更と障がい児の受入推進事業で児童数が増えたことによる費用です。

障害者自立支援事業 421万9000円

制度改正に伴う障害者自立支援給付支払等システム改修の経費と、平成28年度の障害者自立支援医療費負担金の確定に伴う超過交付分の返還金です。

戸籍住民基本台帳経費 283万7000円

旧姓を引き続き使用できるよう住民票やマイナンバーカードなどに旧姓を併記するためのシステム改修と、印鑑証明の性別欄を削除するシステム改修費を増額します。

電算経費 254万6000円

国の社会保障・税番号制度の導入に伴い、新たな業務に対応するための総合行政情報システムの改修経費です。

保健福祉センター経費 68万1000円

保健福祉センター内の療育室に光冷暖システム（暖房のみ）を導入するための改修経費です。



マイナンバーカードで
便利なコンビニ交付



保健福祉センター内療育室



開所された待望の三和学童保育所

12月定例会は、12月1日から15日までの会期で開かれました。
平成29年度一般会計補正予算、国保・介護・下水道事業特別会計補正予算や条例の制定など、14議案を全会一致、一部賛成多数で原案のとおり可決しました。

子育て

主な質疑

問 冷暖房設備のある保健福祉センター療育室に、光冷暖システムの導入は必要ですか。

答 福祉部長 発達支援のため、より良い環境を求めています。療育室の環境に適しているので、導入は必要と判断しました。

問 光冷暖システムは、無償提供ではなく入札で導入してはどうか。
答 地域福祉課長 このシステムは特許製品なので、入札は適さないと考えています。

問 放課後児童は、学習と遊びのどちらが主体ですか。

答 子ども家庭課長 宿題が終わってから遊ぶようにしています。どちらも重要と考えています。

問 就学援助の基準はどのようですか。

答 学校教育課長 家庭の収入額を需用費（家族全員の需要額）で割った数字が1.3以下の家庭を対象に支給しています。

問 中学校の学用品とはどのようなものが対象ですか。また、支給単価はいくらですか。

答 学校教育課主幹 学用品の対象は学校で使用するドリルなどで、新入学学用品は制服・ジャージなどです。
新入学学用品費が引き上げられ、中学新入生の単価が47,400円に上がりました。

補正予算(4号)の討論

反対討論(大崎議員)

光冷暖システムの議論の中で納得できる答弁を得ることはできません。企業から機器の無償提供にも疑問をもちます。子どもたちの状況を把握してからでも導入を考えられることから反対します。

反対討論(山本議員)

光冷暖システムの無償提供を受け、再改修するための費用が計上されています。これは現在行われている福祉センターの大改修に伴う最新の冷暖房設備の実証をせざるに費用であり反対します。

賛成討論(山崎議員)

退職手当組合負担金、児童手当費、保健福祉センター療育室改修工事の光冷暖システム導入経費など、重要かつすぐに必要な予算を計上しているものです。

その予算見積りは適正な積算根拠のもとに計上されていると認められるため、賛成します。

賛成討論(三宅議員)

議案の中には大切なものが含まれており、予算決算常任委員会副委員長の討論と同じ観点で賛成とします。

補正予算(5号)の討論

反対討論(大崎議員)

町長、副町長、教育長と議員の期末手当の条例改正に反対しました。その予算が計上されていますので反対します。

賛成討論(山崎議員)

人事院勧告に基づく給与条例の改正により、増額補正をするものです。適正に計上されていると認められるため、賛成します。



特別会計補正予算

国民健康保険

職員構成の変動などにより68万1千円を減額補正しました。また、追加上程（第3号）で人事院勧告の実施に伴い人件費を10万3千円増額補正し、予算総額は32億9292万9千円となりました。

介護保険

職員構成の変動と制度改正に伴う電算システム改修経費などで、4323万9千円を増額補正しました。また、追加上程（第3号）で人事院勧告の実施に伴い人件費を20万5千円増額補正し、予算総額は19億3272万3千円となりました。

下水道事業

職員構成の変動と前年度消費税の不足分で431万3千円を増額補正しました。また、追加上程（第2号）で人事院勧告の実施に伴い人件費を22万1千円増額補正し、予算総額は9億8083万4千円となりました。

条例

東員町地区計画等の案の作成手続きに関する条例の制定

都市計画法の規定に基づいて、地区計画などの案の内容となる事項の提示方法と意見の提出方法を定めるものです。

東員町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

人事院勧告に基づき、初任給を1000円引き上げ、若年層を中心に同程度、その他は400円引き上げます。ボーナスは12月の勤勉手当の支給月数を「0・1月分」引き上げ、支給率を「100分の85」から「100分の95」に改正し、平成30年度以降は6月期、12月期の勤勉手当が均等になるよう配分するものです。

主な質疑

問 縦覧期間は2週間と短くないですか。

答 建設課長補佐 一般的に縦覧期間は2週間と定められています。縦覧期間を含めて意見を求める期間は3週間設けています。

問 意見書を出せる人は、開発地域の人だけですか。

答 建設課長補佐 地区計画であっても町全体が関わることなので、意見書を出せる範囲は町民全員が対象です。

また、附則では55歳以上で、かつ給料の級が6級以上の職員に対する給与の減額措置が平成30年3月31日で廃止されることから、当該規定を削るとともに、これを引用する「勤務時間、休暇に関する条例及び育児休業等に関する条例」の一部を改正するものです。

議員報酬と費用弁償等の
条例改正

町長、副町長及び教育長の
給料と旅費等の条例改正

平成29年人事院勧告により、国家公務員のボーナスを「0.1月分」引き上げる勧告がありました。

勧告を準拠し、議員の期末手当と町長、副町長および教育長の期末手当の支給率を「100分の215」から「100分の225」に改正します。

平成30年度以降は、6月期、12月期の期末手当が均等になるよう配分するものです。

議員報酬と費用弁償等の条例改正

反対討論（大崎議員）

人事院勧告に準拠する必要はありません。自治体の財政状況に合わせて実施もできません。財源が厳しくなる中で町民の負担は増えています。非常勤である議員の期末手当の引き上げに反対します。

反対討論（山本議員）

東員町は大変な少子高齢化の社会の中にあります。この議案が果たして住民の皆さんに受け入れられるのかどうか、疑問に思います。

よってこの議案は凍結するべきであると考え、反対します。

賛成討論（山崎議員）

国家公務員のボーナス支給率が民間企業より低いとして、人事院より引き上げの勧告がなされたことに準拠し、本町議会議員の期末手当支給率を引き上げるものであり、正当な条例改正であると認められますので賛成します。

賛成討論（三宅議員）

議会の中には幅広い年齢層の議員がいます。どの年代でも安心して議員活動ができる環境を整える必要があります。

そういったことも配慮をしながら議員活動をするべきであると考え、賛成します。



地域の想いをつなぐ駅伝大会
(第50回町民駅伝大会)

町長、副町長及び教育長の給料と旅費等の
条例改正

反対討論（大崎議員）

労働者の実質賃金は下がり、町民の負担は増えています。財源が厳しくなる中で引き上げに反対します。

賛成討論（山崎議員）

人事院より引き上げの勧告があったことに準拠し、勧告に基づく正当な条例改正と認められるため、賛成します。

各議員の賛否

平成29年 第4回(12月)定例会

審議結果	議案名	議員名													
		大谷勝治	片松雅弘	三林浩	石垣智矢	山崎まゆみ	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	水谷喜和	鷺田昭男	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎	大崎潤子
同意	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
承認	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	東員町地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	×
可決	平成29年度東員町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	東員町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	×	×
可決	町長、副町長及び教育長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	×	×
可決	東員町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○	×	×
可決	平成29年度東員町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
可決	平成29年度東員町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○

議長(-)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。

「議会」って定例会以外に 何をしているのだろう？ 議会の動き

平成29年10月から12月までの議会全員協議会・各常任委員会の活動を「議会の動き」として報告します。

議会広報常任委員会を開催 平成29年10月4、10、12日

議会広報133号の編集作業を行いました。

議会運営委員会を開催 平成29年10月6日

議会傍聴規則の一部改正について協議しました。

議会議員研修会を開催 平成29年10月13日

総務建設常任委員会を開催 平成29年10月18日

北勢沿岸流域下水道北部浄化センターを視察しました。

議会全員協議会を開催 平成29年10月18日

光冷暖システムの仕組みについてモデルルームにて説明を受けました。

議会全員協議会を開催 平成29年11月17日

平成29年第4回東員町議会定例会(12月定例会)の議案概要について、執行部から説明を受けました。

議会運営委員会を開催 平成29年11月17日

平成29年第4回東員町議会定例会(12月定例会)の会期・議事日程について協議しました。

議会広報常任委員会を開催 平成29年11月17日

議会広報作成について協議しました。

議会広報常任委員会を開催 平成29年12月1日

議会だより134号の構成について協議しました。

議会運営委員会を開催 平成29年12月7日

追加上程される議案の審議予定について協議しました。

予算決算常任委員会を開催 平成29年12月8日

付託された議案について審査しました。

総務建設常任委員会を開催 平成29年12月12日

付託された議案などについて審査しました。

教育民生常任委員会を開催 平成29年12月12日

付託された議案などについて審査しました。

教育民生常任委員会を開催 平成29年12月13日

地域支えあい事業(瀬古泉カフェ)の現地視察を行いました。

議会広報常任委員会を開催 平成29年12月14、15、18、22、26日

議会広報134号の編集作業を行いました。

議会全員協議会を開催 平成29年12月15日

第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画(素案)、高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画(素案)について、執行部から説明を受けました。

上記以前の「平成29年 議会の動き」は町ホームページの東員町議会に掲載してあります。



一般質問

町政を問う

1. 近藤 敏彦…………… 9	1. 子育て世代にやさしいまちづくりについて 2. 対外的なPRについて
2. 大谷 勝治…………… 10	1. 農福連携事業について 2. 朝市について（ガラス温室） 3. 交通行政について 4. 道路管理について
3. 三宅 耕三…………… 11	1. 町長の政策構想と職員連携について
4. 川瀬 孝代…………… 12	1. 子育て応援アプリについて 2. 発達障害支援について
5. 石垣 智矢…………… 13	1. 陸上競技場芝グラウンドの利用について
6. 大崎 潤子…………… 14	1. 安全・安心なまちについて 2. 快適なまちについて 3. 人にやさしいまちについて 4. 雇用について
7. 山崎まゆみ…………… 15	1. 栄養改善事業の「食育」と食農推進事業の「食農」の連携について 2. 男女共同参画社会の実現に向けた取組について

一般質問とは、町行財政全般について、町長の考えや疑問点を質す政策論議の^{ただ}ことをいい、定例会のみ行われます。

今定例会では、7人の議員が一般質問を行いました。

過去の一般質問はこちらから



原稿は質問者が作成したものを掲載しています。

近藤敏彦



保育園の待機児童は

年度当初はありません

問 保育園の待機児童の状況を伺います。

答 教育長 年度始まりは待機児童はありません。0歳児から5歳児まで待機児童を出さないよう、職員配置など考慮しています。

再質問（一問一答）

問 年度途中では何人の待機児童がいますか。

答 教育長 5年ほど前から発生しており、今年度は0歳児から2歳児で24人います。

問 年度途中での待機児童を出さないように、

もう少し余裕をもった計画を立てることはできないですか。

答 教育長 毎年10月に園児の募集をして準備をしますが、保育士の確保が非常に困難であり、職員も毎年苦慮しています。

問 将来的に児童数の偏りや教員の配置などを考慮すると、小・中学校の統廃合や校区の枠を外すなど、考える必要があるのではないのでしょうか。

答 教育長 小学校の場合は、複式学級の可能性がでてきたら統廃合を考えます。在来地区は通学距離なども考慮する必要があります。と思います。

観光協会の現状は

問 東員町観光協会の現状と今後の見通しはどうか。

答 町長 組織の運営や活動方針の調整不足、役員の高齢化などで組織の弱体化が進み、活動を休止していますが、今年度から若者を中心とした「東員町観光振興会」が発足しました。これからは、振興会が町の観光振興の要となることが重要と考えています。

再質問（一問一答）

問 観光振興会と商工会との関係はありますか。

答 町長 商工会にもいろいろと話を持ちかけながら連携してもらっています。

問 住民の転入と企業誘いの用地の現状を伺います。

答 町長 企業誘致のための用地はほとんどありません。住宅地は、今回の都市計画マスタープランの改訂で、二和地区に若干の土地を用意できました。



元気いっぱいな園児たち

今後の農福連携事業は 経営の安定を目指します



大谷 勝治

問 農福連携事業の現状と今後の展望を伺います。

答 建設部長 農福連携事業は、耕作放棄地の有効利用と障がい者雇用の目的に、平成27年度から野菜栽培を中心に、就労継続支援A型事業所が取り組んでいます。現在、指導者3人と15人の障がい者が働き、これまでに3人が一般企業へ就労しました。

今後の展望として、露地野菜の栽培は、天候の影響を受けやすいので、安定経営を図るためにもガラス温室の有効利用を含めた経営を考える必要があります。また、農産物をそのまま販売するのではなく、加工し付加価値を付けて収益を図り、安定経営を目指すことが重要と考えています。

再質問（一問一答）

問 A型事業所から一般就労に移行して、定着する取り組みをしていますか。

答 福祉部長 現在、単独事業として、直接企業訪問を行い話をしていきます。

問 A型事業所の有期間間について就労定着支援サービスの今後はどうですか。

答 地域福祉課長 就労は全国的にみても定着していません。国も課題としています。障害者総合支援法が改正され、就労定着支援サービスの事業所ができれば、積極的に町としても取り組みます。

なお、A型事業所については、サービス受給のための受給者証の有効期間は最大3年です。

問 収穫された農作物の保管と二次加工をどのように考えていますか。

答 建設部長 事業者から具体的な提案があれば、協定に基づき適切に行います。

今後の朝市は

問 当初ガラス温室の朝市は、にぎわいがありました。朝市の現状を伺います。

答 建設部長 出品数、来場者数は減少傾向です。運営協議会と開催方法や場所について協議し、ガラス温室の活用を含めて検討します。

再質問（一問一答）

問 町の朝市を今後も存続させていきますか。

答 建設部長 朝市の農産物が地域の顔となつていますが、いまだに町の特産物はありません。出品することで高齢者の励みとなり、町民の憩いの場ともなっていますので、存続していきます。

※就労継続支援A型事業所とは通常の事業所で働くことが困難な人に就労の機会の提供など、知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。（雇用契約有）



農業地の無人販売所（長深）

町長と職員の連携は

意識調整を図っています

問

東員町の将来の在るべき姿を描く町長と職員との連携はどのようですか。そして、他市町との広域行政の中で、政策決定に追従するのではなく、東員町らしい「まちづくり」を進める必要があります。東員町の立ち位置をどのように考え、折衝していますか。

保健福祉センター内の療育施設に、光冷暖システムを導入する構想から、決断に至るまでのプロセスを伺います。

また、町長部局と教育委員会との連携はどのようですか。スポーツ振興の観点から隣りの市では総合運動公園が解放されています。今後の東員町スポーツ公園陸上競技場の活用方法をどのように考えていますか。

答

町長 職員との連携は、幹部会や政策調整会議、企画調整委員会などで、次年度予算に反映させるための事業レビューなどを実施し、職員との意識調整や政策の方向性の確認

などを図っています。

桑名・員弁広域連合、桑名広域清掃事業組合の事務は、構成市町の考えのもと、事業の実施や費用など事務担当者で充分な協議を行います。重要な案件は、構成自治体首長会議で議論をし、広域連合や事業組合の議会に諮^{はか}っています。

光冷暖システムは、保健福祉センター改修後に、発達支援室の療育施設の一部に導入を考え、担当課長と

一緒に視察に行き、本体無償ならばと導入を指示しました。

教育長 部局の垣根を越え、役場全体で情報の共有化、円滑な業務連携、意思の疎通を図っています。

東員町陸上競技場は、近隣市町から応分の負担がない限り公認申請は行わず、将来は施設を収入源として活用していきたいと考えています。

再質問（一問一答）

問

桑名広域清掃事業組合で決めた旧ごみ袋の使用方法ですが、桑名市の突然の政策変更の影響を受ける形となりました。

「東員町らしく最後の一枚まで使わせる」という強い意志はなかったのですか。

答

町長 一度広域で決めたことを桑名市が変更したことは、違和感がありました。東員町の対応が後手に回ったことは素直に謝ります。町民のためになればと、交換することを決めました。



三宅耕三



市民に開放されている桑名市の運動公園

川瀬孝代



子育て応援アプリは準備を進めています

問

平成27年度から「子ども子育て支援制度」がスタートしたことで、子育て支援に関する情報提供や相談、助言を行う「利用者支援事業」の実施を自治体に求められたことから、独自の支援事業を検討・展開するようになりました。

子育て家庭の家族形態や就労形態が多様化する中で、保育だけでなくさまざまな形で、子育て支援のニーズに幅広く対応する必要性が増してきています。

昨今、子育て世代の多くが利用している「スマートフォン」や「タブレット」を使って、時間にとらわれず、気軽に子育て情報を取得することができ、育児の不安感や負担軽減などを図ることができると「アプリ」が有効であると考えます。

「アプリ」には、保育園・幼稚園、病院、公園などの「施

設マップ」や情報を閲覧できる「子育てナビ」があります。また、健診や予防接種を知らせる「配信機能」や出産・育児のアドバイスなどもあります。

多くの子育て世代に、きめ細かく応えることが期待され「切れ目のない子育て支援」に有効であると考えます。アプリを導入してはどうですか。

答

町長 町としての子育て支援は、各小学校区での保幼一体施設の整備、学童保育所整備、経済支援のため、保育料を安く抑えるとともに、5歳児の幼稚園保育料の無償化を実施しています。

また、保育士の正規率の向上や個に応じたきめ細やかな保育・教育を進め、子育て支援センターでは、子

育て相談・子育ての講演会などを実施しています。

現在の情報伝達は、広報やホームページ、行政メール、回覧など活用してお知らせしています。

「スマートフォン」を活用して、子育て情報の発信をすることは、子育てに不安を抱える保護者にとって、有効なツールになるのではないかと考えています。

現在、担当課でスマートフォンを活用した「アプリ」の運用に向けて準備を進めています。運用開始時には、広く周知をしていきます。



たのしい子育て

石垣 智矢



芝グラウンドの利用促進を

無料開放などを検討します

問

平成29年10月に陸上競技場の第3種公認が外れたことに伴い、芝グラウンドの使用料を含めた利用方法をどのように考えていますか。

また、平成28年9月の定例会で、陸上競技場芝グラウンドの使用料が、とても高額なことについて質問を

しました。その後、どのような議論がされましたか。

答

教育委員会事務局長 芝グラウンドの利用は、第2次東員町行財政検討委員会から「町内の公共施設の使用料の見直しについて」の答申を受け、平成21年度に大幅な値上げを行いました。

現在、公認は外れていますが、受益と負担の観点から、直ちに料金などを含めた利用方法を見直す考えはありません。しかし、この陸上競技場は稼げる施設にする必要があります。

そこで昨年から、指定管理者制度の導入について調査を行い、民間事業者から

アドバイスをいただきながら検討を進めてきました。

現在、具体的な進展はありませんが、今後さまざまな手法を調査研究していきます。

再質問（一問一答）

問

芝グラウンドは、町内者と町外者の料金区分がされていません。利用方法の変更や町内者が優遇される料金設定にはできませんか。

答

教育委員会事務局長 近隣市町のような1時間単位の利用にするなど、使いやすい方法や使用料を検討していきます。

問

現在の芝グラウンドは、主に大会のみの利用に制限されています。夏休み期間は練習から利用できるなど、子どもたちの利用促進を図ってはどのよう

答

教育長 期限付きではありませんが、夏休みの期間に、競技場の無料開放をするなど、子どもたちの利用促進を前向きに検討していきます。

町長 無料開放などで子どもたちの利用促進を図りながら、稼ぐときにはしっかりと稼げる利用方法を今後



利用者が増えたらいいな(東員町陸上競技場)

安全・安心のまちづくりは 改善を図ります



大崎潤子

問

平成23年度から10年間を見据えた第5次総合計画の町道整備で「危険箇所の改善、歩行空間の確保など安全性や災害時への対応に配慮した安全で快適な町づくりを進める」となっています。

次の点を伺います。

①再三、道路上の消えた白線について改善を求めてきましたが、目に見える形でこの白線が引き直された実感が湧きません。平成28年度の決算額は、約246万円です。側線は何キロメートル実施できましたか。
②笹尾東入口から神田変電所まで、東員郵便局から西へ、弁天通りの城山から大仲溜交差点までの歩道設置を求める声が多くあります。この声にどう答えますか。また、総合計画の中間目標値10・2%に対してはどのようにでしたか。

③雪の季節になります。生活道路にも融雪剤が必要と考えますがどうですか。

④安全・安心に欠かせない消防水利である消火栓のふたを囲む黄色線が消えています。また、団地内の防火水槽駐停車禁止の黄色の囲い標示も、ほとんど消えている状況です。これでは町民の安全・安心は守れません。

どのような管理点検が実施されていますか。

答

建設部長 ①路面標示には町で施工できるもの、交通規制を伴うものは警察で、国・県道は県が路面標示を行います。平成28年度に引いた区画線は、文字による路面標示を含めて約7・8kmです。

②町道(六太南北線、大木八幡新田線、中上南大社線)で整備が完了し、総合計画の中間目標値に達しています。歩道整備は優先順位をつけて、まず弁天通りの歩道設

置を計画中です。

③道路幅員の狭い各生活道路への設置は難しいと考えています。

④町内に消火栓は906カ所あり、調査を行いながら改善を図ります。

土砂の撤去を

問

ハス池として親しまれている万助溜の上溜は、土砂や落ち葉が堆積し、コイが泳ぐのも難しいです。土砂の撤去を求めます。

答

建設部長 必要があれば水生生物に支障のない程度で検討します。



一日も早い対応を

「食育」と「食農」の連携は

事業間の情報共有を行います



山崎まゆみ

問

「食」は生きる源であるにも関わらず、食の大切さに対する意識の低下や食習慣の乱れから、さまざまな健康問題が生じたり、食の安全・安心について多くの課題が発生しており「食育」の重要性が増しています。同時に一般的な食育活動に加えて、食を支える農業に関する知識、地

域の農産物などを学ぶ「食農」教育も大切です。食育と食農の取り組みと連携について伺います。

答

教育長 朝食調査を実施しながら、食への関心を高める教育をしています。

福祉部長 関連部門が一体となって、食育推進の4本柱に沿って取り組んでいます。

建設部長 「食農講座」と「農業体験」の2講座を親子対象で実施しています。食育と食農の連携は、各所管課事業によって趣旨が異なりますが、今後は事業間の情報共有を行い、連携を図りながら多くの人が参加できるように努めていきます。

再質問（一問一答）

問

長年同じ内容で実施し、参加者の顔ぶれも同じという指摘について、数値目標を持っていただくなど、本来の目的を再確認した上で見直しが必要と思えますがいかがですか。

答

建設部長 より多くの人に参加いただけるように検討していきます。

女性参画の向上は

問

男女共同参画社会は、一人一人がお互いを認め合い、責任も分かち合い、性別に関係なく、個性と能力を発揮できる多様性に富んだ活力ある社会です。町の男女共同参画の取り組みの中で、女性参画の向上と「働き方改革」について伺います。

答

生活部長 町における女性管理職の割合は、幼保職員を含め15%です。行政のさまざまな分野で、女性視点からの行政サービスの向上につながっていると考えます。「働き方改革」はワーク・ライフ・バランスを推進し、時間外勤務の縮減や初の男性職員の子育て参加休暇取得がありました。今後も多岐にわたる分野で取り組みを進めていきます。



農業体験講座の最終日は大豆加工センターで「餅つき」

東員町役場会議室

研修日 10月13日

議会全員協議会

議会改革を

どのように進めるのか



東員町議会は、以前から数々のルールを設けて、議会改革に取り組んでいます。さらなる議会改革の一つとして「議会基本条例の制定」について、議員間でさまざまな議論をしてきました。平成27年度に基本条例策定作業部会を立ち上げたり、条例を制定している議会に視察研修をするなど、たくさんの方の意見をふまえながら基本条例と向き合ってきました。



今回は、衆議院法制局参事を歴任され、後に自治体の議会アドバイザーとして活躍されている吉田利宏氏を招き「議会基本条例の定め方・活かし方」と題し、主に次のとおり講義を受けました。

1. 条例を制定する意義として、議会が地方自治法など法令を順守することは当然であるが、改革に向け積み重ねてきた議論や約束を明確に規定し、改革を後戻りさせないことにある。
2. 条例を制定する視点として、誰に対する規定（約束）なのか。また、改革に向けた目標値と行程は明確にしておくべきである。
3. 条例を生かす視点として、決算などから見る事業評価を行い、町民が期待する政策提案が求められる。

以上のとおり、議会改革の視点に立った重要な研修となりました。



北勢沿岸流域下水道北部浄化センター 研修日 10月18日 総務建設常任委員会

下水処理場の現状を調査



供用開始から30年経過した北部浄化センターは、処理費用のうち13%を修繕費が占めるようになりました。そこで北部浄化センターの現状認識と今後の課題について視察研修をしました。

処理区は東員町・四日市市・桑名市・いなべ市・菟野町・朝日町・川越町の各市町です。

北部浄化センターの現状は、汚水処理量が数年前から増え続け、10万 m^3 近く汚水処理量が増大しています。

また、東員町では雨水流入などによる不明水の問題があります。北部浄化センターでも台風などの天候による影響があると説明がありました。

今後、汚水量が多くなった場合、下水道管の増設などが課題となってきます。

瀬古泉カフェ 研修日 12月13日 教育民生常任委員会

地域で支えあいカフェ

町では、地域包括ケアアシステムの実現に向けて、さまざまな取り組みを行っています。カフェ事業もその一つで、今回はいち早く取り組んだ瀬古泉カフェを視察しました。

地域の人たちが、お茶を飲みながら語りあったり、催しものをしたりと、会場は笑顔であふれていました。

また、学校帰りの子どもたちが宿題などをしにカフェに立ち寄るなど、幅広い世代の憩いの場所となりました。

カフェ運営は、自治会長や世話役さんを中心に、受付やお茶を配る人など役割を分担し、みんなで支え合っていることに感動しました。

人とのつながりは介護予防にもなります。カフェへの取り組みは、地域の活力を生み出し、人びとの活躍の場所づくりになっていることを感じました。

このような活動が他の地域にもさらに広がり、地域包括ケアの目指す「住み慣れた地域で自分らしく暮らし続ける」ことにつながることを期待します。



どうしたらいいですか？」 タビュウ

さまざまな世代の方からご協力いただきました。
ありがとうございました。



石垣呂山くん (南大社 中学生)

「僕たち中学生の友達で遊ぶ場所や気軽に運動できる所、バスケットゴールやアスレチックとかが身近な場所に欲しいよね」と友人とよく話しています。



安藤弘樹さん (鳥取)

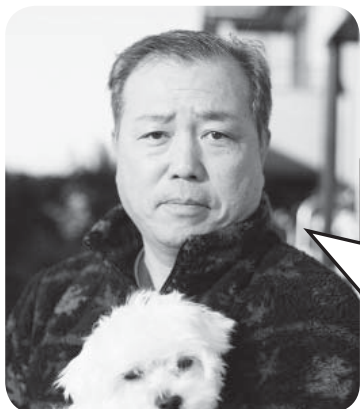
高齢化が進む中、オレンジバスの路線図やダイヤを見直し、車がなくても東員駅を起点に何処にでも行けるようになれば住みよい町になると思います。

私はガールスカウトの活動をしています。少子化の影響を受けて会員数も減少傾向です。若者が町に残り、若者が住みたくなるまちづくり、若い世代を呼び込み町を活性化したいですね。



馬場路子さん (城山二)

武内直幹さん (笹尾東四)



町民がいつでも楽しめるように、町のスポーツ施設を無料開放して「健康増進のまち」にしてほしいです。



南部侑也さん (北大社 学生)

いい町です。住みよいですよ。地域に守ってもらっています。散歩などの時に、あまり見かけない方には、こちらから声を掛けていますよ。声掛けの輪が広がれば、認知症対策の一つになるのではと思っています。



水谷元子さん (笹尾西一)

東員フェスティバルのような夏のお祭りを復活させてほしい。他にも若者が楽しめるイベントを増やしてほしいです。

特集

「みんなが住みよいまちにするには 突撃イン」

山下朋哉さん（大木）



球場の予約が空いている時などは子どもたちに貸してもらえないかな。子どもたちが安全に遊べる環境をもっと作ってほしいです。

盆踊りなどが少なくなり、若者や青年会の交流の場が少なくなっています。若者の地域交流ができる場所がほしい。

中村宗弘さん（八幡新田）

住みよい町だと思います。子どもたちもきちんとあいさつができます。そんな子どもたちを見守るまちづくりを望みます。



村木真知子さん（笹尾西一）

丹羽洋平さん（笹尾東四）



日々の生活が、不安無く安心して健康で元気に生活できる町であってほしい。低料金で入所できる特別養護老人ホームを造ってほしいです。



日置菊哉さん（中上）

健康増進、コミュニケーションの場になるような楽しい温泉施設があるといいなあ。



中山和文さん（城山三）

施設などへの交通の便を良くしてほしいです。また、住民の横のつながりも必要かと思っています。行政にはそのきっかけづくりをしてほしいです。



小林宏治さん（穴太）

空き地の清掃を行い、そこに四季折々の草木を植えています。自然環境・住環境を整えることで人の心も潤い、自然豊かな住み良い地域づくりを仲間と一緒に広げたいです。

読者の声

たくさん感想を寄せて
いただき、ありがとうございました。

クイズのおかげ?でこのリーフレットをよく読みました。議員さんもがんばってくれてるんだと感じました。
60代 女性

墓地の返還者が多いのですね。30年程前は購入したくても募集が少なく他の所に購入しました。時代によって変わるんだなあーと。
50代 女性

議会だより133号を読んで予算の使い道などグラフでわかりやすかったです。これからも議会だより私達にもわかりやすい内容期待しています。
60代 男性

見やすく、読みやすくなった議会だより。毎回興味を持って隅々まで読ませて頂いています。ありがとうございます。
50代 女性

「議会だより」の紙面としてのボリュームは現状で適切だと思いますが、各記事の詳細がQRコードで見れるのは魅力的だと思いました。導入の検討をお願いします。
40代 男性

議会クイズ毎回楽しみにしています。
10代 男性

ハイブリットパークの企業誘致に努力して下さい。
60代 女性

楽しく読ませてもらっています。
50代 男性

町内の事がよくわかりいつも読んで勉強させて貰っています。
80代 女性

いつも楽しく読ませてもらっています。
50代 女性

三和メジャーズの大きなくおめでとございます。
30代 女性

東員町には東員IC、大型ショッピングセンターができ、土日には大変多くの人でにぎわっています。また、16年一貫教育など教育にも力を入れていることも知っています。
何とかして若い世代の人たちに住んでもらえるようもっとアピールしてはどうか?大型ショッピングセンターに地元の人を優先に雇用したり、今はなくなってしまった住宅購入時の補助金を復活させてはどうか?
40代 男性

2ページを見てお金がいっぱい使われている事が分かりました。
60代 女性

子供が2人いますが将来町内で働く場が少ないので、ハイブリットパークの企業誘致に力を入れてほしいです。
30代 女性

色々頑張ってるのはよくわかりますが、個々充分質問する時、自分の足で調べたり住民の声を把握した上ででしょうか。幼児から八十才すぎても命は同じです。現在 未来 過去です。悲しく思います。
80代 女性

※ 内容は原文のまま掲載しました。ありがとうございました。

追跡

あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

こうなりました



「横断歩道注意」の路面表示ができました。

安全対策を

Q 城山球場沿い道路は、トラックの往来が多く危険な状況です。対策を伺います。
(平成28年12月議会)

A 早急に警察と協議をし、対策を行います。

「正しく伝えること」そして分かりやすく読んでいただけるように努めました。

「議会だより」作成にあたり、大変勉強になりました。

広報委員として一年間が過ぎました。来年度に向けても頑張りたいと思います。

「議会だより読みました」と声をかけていただきました。うれしかったです。一年間ありがとうございました。



議会を知ってもらうために、一生懸命作成に努めました。これからも「議会だより」をよろしくお願いします。

「皆さんに一通り目を通していただきたい」「分かりやすくお伝えしたい」充実した議会だより作成ができて良かったです。

「愛読ありがとうございます」

クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございました。

正解は

問1 21日

問2 島根県雲南市

問3 高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会

多数の正解者の中から抽選の結果、当選された15人の方に図書カードを贈呈します。

* 穴	太	佐藤	久子様
* 大	木	寺田	文代様
* 大	木	木村喜久代	様
* 長	深	伊藤久美子	様
* 中	上	水谷	正子様
* 笹尾西1	勝川	誠司	様
* 笹尾西1	加藤	勝	様
* 笹尾西2	和泉恵美子	様	
* 笹尾西2	真野	裕美	様
* 笹尾西2	川瀬	幸男	様
* 笹尾東1	中山	ゆみ	様
* 笹尾東1	山本	好子	様
* 笹尾東2	花堂	一郎	様
* 笹尾東2	岡本	陽子	様
* 城山2	杉浦	祥美	様

まちの話題

子どもの成長を見守る (神田スポーツ少年団)



神田小学校で毎週土・日曜日と祝日に朝9時から夕方4時まで練習をしています。団員は女子や町外の子どもも含めて総勢28人です。約1時間準備運動を行ってから低学年と高学年に分かれて練習に入ります。野球を



通して「こころ」と「からだ」が健やかに育つことを目的に「友情」と「協力」の大切さを分かっしてほしいなと思って頑張っています。



表紙の写真
飛龍東員太鼓のすがすがしい初たたき

次回の定例会は
平成30年3月1日に開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

議会広報常任委員会

委員長/石垣智矢
副委員長/山崎まゆみ
委員/大谷勝治・片松雅弘
三林 浩・大崎潤子



議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。
また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。